

患者様各位

IgA 腎症治療の最適化を目指す研究に関するお知らせ

研究の背景

近年、IgA 腎症の治療の研究は進み、免疫の異常を根本的に押さえるターゲット療法が次々と進み、劇的な進化をとげておりますが、まだ研究段階であり、本邦ではまだエビデンスが不十分である状況です。従来の扁桃摘出＋ステロイドパルス療法やRAS阻害薬が標準治療とされておりますが、慢性糸球体腎炎の中で最多であるIgA 腎症は若年から高齢者まで幅は広く、血尿や蛋白尿や腎不全のレベルなどの臨床経過に加えて病理組織も多彩です。また、年齢や基礎疾患や腎不全の程度により、すべての患者さんが標準治療の適応になるわけではありません。そこで個々の患者さんの重症化リスクに応じた治療が選択されてきております。この治療選択により、今後の予後や腎不全進行にどのように影響するか評価する必要があります。

研究の目的

本研究は、友愛医療センターでIgA 腎症と診断された患者さんを対象とした単一施設前向き研究です。臨床経過が多彩であるIgA 腎症は、個々の患者さんの重症化リスクに応じた治療が選択されており、その最適化が必要と考えられております。IgA 腎症患者さんの当院での治療状況を調査し、尿所見改善の程度や腎不全進行のレベルを評価し、IgA 腎症治療の最適化を目指します。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：当院で腎生検を行いIgA 腎症と診断された患者さん(15歳未満を除く)
期 間：2016年1月1日～2026年12月31日

研究に際し行うこと

研究のための特別な検査・投薬・治療等はありません。通常の診察 および治療を継続し、その際の検査データを収集し解析することで、最適な治療の方向性を見出します。

研究に伴う患者様の負担・不利益

通常の診療を行うだけなので、研究のための患者様の金銭的負担は一切ありません。また研究のための検査や投薬は一切行いません。研究を行うことで生ずる副作用等の増加はありません。

患者様の人権擁護

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

御不明な点は、主治医・看護師または下記までお尋ねください。
皆様の御協力に感謝致します。

連絡先
社会医療法人友愛会 友愛医療センター
腎臓内科 安達崇之
電話：(代表)098-850-3811